

会議結果のお知らせ

宮古市産業立市ビジョン策定委員会令和6年度第1回委員会を次のとおり開催しました。

令和6年9月19日

宮古市産業立市ビジョン策定委員会

- 1 開催日時
令和6年8月6日（火） 午後3時30分～午後5時00分
- 2 開催場所
市民交流センター1階 会議室1・2
- 3 議題
(1) 宮古市産業立市ビジョンの策定方針について
(2) 宮古市産業立市ビジョン重点施策及び分野別ビジョンの実績検証について
(3) その他
- 4 会議の概要
各委員に対し委嘱状を交付した後、委員長及び副委員長を選任し、議題について説明した。
詳細は、別添のとおり
- 5 問い合わせ先
産業振興部 産業支援センター 産業支援係 電話0193-68-9092

宮古市産業立市ビジョン策定委員会第一回委員会 開催結果

1 出席者（11名）

花坂康太郎委員、植野歩未委員、雲然祥子委員、門坂道弘委員、中居克広委員、佐藤 功委員、笹平 仁委員、佐々木久志委員、大志田憲委員、小堀内将文委員
渡部玲子委員

2 欠席者（1名）

寺井 繁委員

3 事務局出席者（10名）

産業振興部長 岩間 健

産業振興次長 小成勝則

農林水産次長 飛澤寛一

企業立地港湾課長 竹原和彦

農林課長 袈岩邦行

水産課長 中西秀彦

産業支援センター所長 山崎義剛

産業支援センター副主幹兼産業支援係長 畠山善徳

産業支援センター商業労政係長 工藤 翠

産業支援センター産業支援係主任 沼崎理恵子

4 傍聴者

1名

5 議事等

(1) 宮古市産業立市ビジョンの策定方針について

宮古市産業立市ビジョンの策定方針について事務局から説明。審議を行い承認された。

(2) 宮古市産業立市ビジョン重点施策及び分野別ビジョンの実績検証について

宮古市工業振興ビジョンの実績検証について事務局から説明。審議を行い承認された。

(3) その他

次回会議日程について事務局より説明

質疑応答内容

質問・意見	回答
<p>【議題(1)「宮古市産業立市ビジョンの策定方針について」】</p> <p>(委員) 市民意識調査アンケートについて、若い方のアンケート数が少ないとの事だった。クロス集計または、年代別のアンケートなど、世代間の違いなどの調査結果があれば教えて欲しい。</p> <p>(委員) 市民意識調査アンケート3ページの②定住意向で、市内定住が3ポイント減少したのに対し、市外への移住が5.2ポイント増加している。何が要因か。</p> <p>(委員) 前回の実行計画から継続される内容もあると思う。新しい視点を取り入れる場合、どのタイミングで意見を提出すればよいか。</p> <p>(委員) 産業立市ビジョンの重点施策「うみだす」「うりこむ」「はぐくむ」「そなえる」「ささえる」の分野の施策名及びプロジェクトに変更はあるか。</p>	<p>(事務局) 配布した資料が概要版であり、詳細版に記載されている。ホームページでも閲覧可能なので後でお示しする。</p> <p>(事務局) コロナ禍において、人の移動が制限された中での調査だったことも要因としてあると考える。</p> <p>(事務局) 現ビジョンも時代の変化に伴い、内容に影響があると認識している。現在開催している、各分野別ビジョンの会議及び産業立市ビジョンの委員の皆様のご意見を頂戴し、取捨選択のうえ取り入れていきたい。大きく変わるものではないと考えている。ただし、前回計画を作成した3年前と傾向が変わってきていると受け止めている。各分野別ビジョンの意見を吸い上げ、組み立てながら素案を作っていく。担い手不足や、事業承継等テーマになってくると感じている。その要素を取り入れるか皆様のご意見をお伺いして進める。</p> <p>(事務局) 重点施策は、委員の皆様だけではなく多くの方に理解してもらうために策定した。プロジェクトについても外せないものと考えている。皆様のご意見を聞きながらになる</p>

【議題(2)「宮古市産業立市ビジョン重点施策及び分野別ビジョンの実績検証について」】

(委員)

客船がたくさん寄港しているが、すぐ出港してしまう。もう少し長く滞在できないか。また、宮古・室蘭航路の再開はどのように考えているか。

【議題(3) その他】

次回の会議日程について事務局から説明。

が、基本的にはこれまでの施策、プロジェクトがベースとなる。

(事務局)

客船は、クルーズの特性として日中寄港地での観光を楽しみ、夜移動して次の港で観光を楽しむ形となっている。一昨年停泊があったことから、今後停泊の可能性もある。色々な方法で客船を誘致し、寄港回数を増やしていきたい。

フェリーについては、現在三陸沿岸道路が全線開通しており、仙台と八戸の間に宮古港が位置することで使い勝手が良いとの話もいただいている。物流の2024年問題もあったことから、宮古・室蘭航路は必要と感じている。再開に向けてポートセールスを積極的に行っている。